

がん登録アンケート結果について 東大病院放射線科・緩和ケア診療部 中川恵一

日本人の半数近くががんで死ぬ時代を迎えつつあります。

「がん登録」は、患者さん毎に、がんの種類、進行度、治療方法、治療結果（治療効果、後遺症）などを登録・分析するシステムです。個人情報の保護が前提のもので、先進国で行っていないのは、日本くらいとなっています。がんと診断されるとすぐに医療機関が登録し、都道府県に情報をあげる仕組みになっています。こうして集めた最新のデータをもとに、国ががん対策をとります。米国でがんの死亡率が減少に転じているのは、この「がん登録」の寄与が大きいと言われていています。

一方で、登録情報が外部に漏れるたらどうするのか、など、個人情報保護の観点から問題があると指摘する声もあります。また、現状では本人に告知していない場合でも、登録される仕組みになっており、これを問題視する声もあります。

こうした「がん登録」制度についてどのように思っておられるのか。患者・家族や、一般の方々の立場から、率直なご意見を集めております。下記のアンケートにご協力をお願いいたします。

①下記の項目にお応えください。

年齢（ 歳）、性別（男・女）、  
一般市民、医療者、患者、患者家族（○をつけてください）

②がん登録制度に賛成ですか？

A. 賛成 B. 反対 C. どちらともいえない（○をつけてください）

③その理由は？

④本人に告知していなくても、許可を得ないで登録してもいいと思いますか？

A. 思う B. 思わない C. どちらともいえない（○をつけてください）

⑤その理由は？

アンケート結果（対象は、講演参加の一般市民 2077名）

総計=2077名	がん登録について			本人未告知で登録可？		
	A/賛成	B/反対	C/どちらともいえない	A/思う	B/思わない	C/どちらともいえない
合計	1758	18	301	982	586	480
%	84.6	0.9	14.5	47.3	28.2	23.1

考察：がん登録に関する法律的裏付けが必要かと考える。